


令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：南小国町立市原小学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

| 項目 | 活動の様子（写真） | 取組の実際 |
|----|---|--|
| 宣言 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会で昨年度までの校内環境の様子について振り返り、よりよい学校にしていくために更に頑張っていくことを話し合い、意見をまとめた。 ・全校児童が意識できるように、委員会の児童を中心として大きな「かん・き・よ・う」のボードを作成した。環境ISO宣言を書いたボードは、階段に掲示することで意識できるようにし、周知を図った。 |
| 行動 |      | <p>①「かん」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除時間には、バケツの半分の水で掃除を行い、全校児童で節水に心がけた。また、雑巾を洗うのは最後とし、水の取り替えを行わないようにした。 <p>②「き」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会前には、PTA 作業として、保護者と全校児童で運動場のゴミ拾いや草取り、校内の清掃を行った。また、委員会活動時には、環境委員会で運動場だけではなく花壇の草取りを行った。 ・掃除時間には、時間内に集中して掃除活動や反省会を行うことができるように、始まりと終わりの3分前に環境美化委員会による校内放送を行った。また、縦割り清掃を実施し、低学年の児童も掃除の仕方を学びながら丁寧に行うことができたようにした。 <p>③「よ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除用具の必要数を揃え、教室毎に印を付けることで片付けを丁寧に行えるようにした。また、片付け方の見本となる写真を用具入れに貼ることで、児童は写真を見ながら片付けを行っていた。 <p>④「う」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会で春と秋に季節の花苗植えを行い、花壇を整備した。また、一週間の花壇の水やり当番を決め、責任を持って取り組むようにした。 ・人権の花の活動では、全校児童で花植えを行い、一週間の水やり当番を割り振り、学校全体で協力しながら花を育てていた。 |

| | | |
|-----|---|--|
| 行動 | | <ul style="list-style-type: none"> 委員会による活動で、児童が収穫したマリーゴールドの種を、南小国町主催の「きよら祭」や「きよら人権デー」開催時に参加者に配布したり、自由に持ち帰ってもらうコーナーを町の施設に設置してもらったりした。収穫したマリーゴールドの種の選別やメッセージカード作り、パッケージ作りなどを委員会を中心に自主的に全員で取り組んだ。 |
| 記録 |  | <ul style="list-style-type: none"> 環境 ISO 宣言では、明記したボードを全校児童が使用する廊下に飾り周知を図れたことは良かった。一方で、集会等で発表を行うことができなかったため、さらに浸透させるために、校内放送を使って全校児童に伝える必要があった。 ここ数年の継続した取組により、バケツの半分の水での掃除を学校全体で行う意識が高まり、実践につながっている。また、用具を揃えることで、貸し借りを減らし、道具を大切にしようとする態度も身につき、片付け場所の徹底を図ることができた。 掃除後の反省会について、掃除終わりの3分前に放送を入れることで、反省会に時間を使うことができ、良かったところと反省点を発表できた。これが、次の掃除の時間の意識付けにもつながっている。 |
| 見直し |  | <ul style="list-style-type: none"> 冬には、木質バイオマスの施策としてペレットストーブを活用した。ペレットの節約をするためにも、気温が高い日や、その日の気温の状況に応じて、消火か火力を最小にすることを職員全体で確認をした。 気温に応じた衣服の着脱についても、児童へ言葉かけをすることで、省エネへの意識が高まった。 |

(2) 成果と課題

| 成 果 | 課 題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 委員会児童による活動で、本校の全家庭や町の各施設にひまわりの種を配布する計画を立てることで、児童が意欲的に種の選別やメッセージカード作り、パッケージ作りに取り組んでいた。また、昨年度に配付した種を今年度に撒き、開花した家庭もあり、学校だけでなく地域の環境作りにも関わることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ペレットストーブの消費量は前年と変わりが無いが、特別教室や職員室の灯油の消費量が増えているため、気温の高い時間帯には消火か火力を最小にすることを職員全体で徹底する必要がある。 節水・節電などでは、一人一人の意識を変えられるような取り組みをクラス単位で具体的に考え、意欲をもって実践していけるように手立てをする必要がある。 |